

2013年11月16日

報道関係者 各位

東京都千代田区丸の内二丁目
3番2号郵船ビル2F
エバーグリーン株式会社
代表取締役社長 加藤栄作

弊社千葉支店・廃油蒸留処理施設における 火災爆発事故について（社内調査結果追加）

標記の件につきましては、関係者各位に多大なご心配とご迷惑をおかけしております。昨夜設置いたしました「エバーグリーン株式会社 千葉支店・廃油蒸留施設火災爆発事故対策本部」が主導し、原因究明のための社内調査を進めた結果、一部確認を進めていたところ幾つかの事実にとどりましたので、取り急ぎ皆様にご報告を申し上げます。

皆様に多大なご心配をおかけしておりますことを改めて深くお詫び申し上げます。また、本件事故に関しましては、本日午前中より千葉支店において、警察と消防による調査が行われております。事故原因につきましては依然「不明」のままではございますが、弊社社内調査が原因究明の一助となるよう、情報の精査・確認を進めて参ります。

記

【事故概要】

発生場所：千葉支店 廃油蒸留施設（千葉県野田市二ツ塚57番地）

発生日時：2013年11月15日 16時15分頃（17時10分ころ鎮火確認）

事故原因：不明（調査中となります）

事故経緯：廃油蒸留処理の一工程となる、細かな不純物を取り除くマイクロセパレーター（遠心分離機）4機のうち1機より白煙が上がっているのを弊社従業員が視認、緊急停止処理の手順をとっていたところ爆発が発生し、小一時間程度の火災となった（現時点で入手している情報に基づく経緯となります）。

被害状況：社内死亡者2名（いずれも弊社従業員）、社内重傷者2名（いずれも火傷）、社内軽傷者5名（打撲等軽傷）、社外負傷者7名（現時点把握分、負傷程度不明）、弊社施設、近隣企業様施設、近隣民家、周辺各建物被害多数（ガラス破損など）

補足事項：本件事故による油類の流出、汚泥（少量の放射性物質を含有）の飛散等は一切ございません。また、当該施設は危険な状態は脱しております。

【社内調査結果】

処理施設：警察・消防の検分もございますので、弊社独自での施設に対する調査は実施できておりません。メーカーおよび関連業者への照会等を進めております。

作業状況：発生現場付近での就労者のうち、2名の方がお亡くなりになり、残る2名につきましても重度の火傷により集中治療室（ICU）にて治療を受けておりますが、本日午後に面会をすることができました。作業現場においてモヤがかかった感じがしたので、窓を開けたところ爆発が起きたとの証言を得ております。

廃油回収：原料となる廃油タンクより蒸留施設に廃油が送り込まれることから、当日のみならず、過去2日間の廃油回収状況について再確認を進めました。その結果、廃油回収時に通常のエンジンオイルとは異なる揮発性の高い油類が回収された可能性があることが判明いたしました。こちらについては、情報の確認とともに油分の特定を進めている状況です。

【廃油リサイクル】

排出事業者：ガソリンスタンド、カーディーラー、カー用品店ほか

主たる原料：廃エンジンオイル

受入体制：①廃油回収時に見ため、におい、回収経緯などで性状把握

*不明な場合は、サンプル収集の上、自社分析にて回収可否を判定

②事業場での荷降ろし時に全回収車両よりサンプリング、性状把握

*水分検知のほか、疑義のある際には別工程での処理を検討

③製品（再生重油）の品質維持のため、ある程度均質な原料を収集

処理工程：①大きな不純物の除去

②細かな不純物の除去 *本工程マイクロセパレーターより白煙

③蒸留による水分・軽質油・再生重油の分離

*爆発場所の特定には至っておりません。

再生重油：A重油・C重油の代替燃料として各種工場のボイラーなどで使用

原料となる廃油とともに揮発性は低い油となっております。

処理工程・処理能力など詳細につきましては、以下のサイトに情報開示しております。

産廃情報ネット：http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u2.php?UserID=06544

以上